

# 市内の一部河川の洪水浸水想定区域についてお知らせします

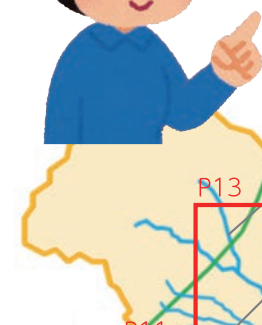


令和4年7月26日に、三重県が鈴鹿市の河川の洪水浸水想定区域を発表しましたので、お知らせします。

## 寺川・亀淵川・兎田川、椎山川・蒲川、御幣川・鍋川・源明川の洪水浸水想定区域図

今回発表された寺川・亀淵川・兎田川、椎山川・蒲川、御幣川・鍋川の洪水浸水想定区域図は、P11~P13に掲載しています。自宅が浸水する恐れがあるか、事前に確認しておきましょう。

※源明川については、市ホームページをご確認ください。



新しい河川洪水浸水想定区域図は、鈴鹿市ホームページの防災マップでも確認できます。  
 (https://www.city.suzuka.lg.jp/safe/index2.html)



### 防災マップの見方

#### ① どのくらいの規模で発生するのか確認しましょう。

河川ごとに、「計画規模の降雨」および「想定最大規模の降雨」があった際の洪水浸水想定区域図を定めています。各河川で「計画規模の降雨」、「想定最大規模の降雨」が異なりますので、まずはご確認ください。

#### ② 凡例を見て、浸水の深さなどの確認をしましょう。

浸水が想定される地域には、赤や黄色などの色で、水深を表示しています。

浸水が想定される区域内にお住まいの方は、事前に避難の方法について考えておきましょう。

凡例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
	5.0m~10.0m未満の区域
	3.0m~5.0m未満の区域
	1.0m~3.0m未満の区域
	0.5m~1.0m未満の区域
	0.3m~0.5m未満の区域
	0.3m未満の区域
	市町境界
	河川範囲等
	浸水想定区域の検討対象区間
	対象河川以外の氾濫による浸水区域

#### ③ 避難所を確認しましょう。

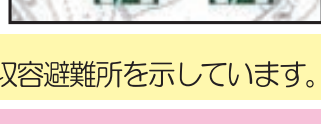
河川氾濫による洪水が発生した際の避難所を掲示しています。最寄りの避難所を確認して、いざというときの速やかな避難につなげましょう。

※掲載のない河川もあります。

※開設している避難所は、市ホームページなどで確認できます。

例

1	庄内小学校
2	庄内公民館 (自主避難所)



避難所のマーク(🏠)は、収容避難所を示しています。

#### ④ 避難所での感染症対策

避難所では、個々の衛生用品などが十分に準備できないため、避難の際は各自で感染症対策を行ってください(マスクの着用、消毒、飲料水・非常食の持参など)。

寺川・亀淵川・兎田川洪水浸水想定区域図(計画規模の降雨)



寺川・亀淵川・兎田川洪水浸水想定区域図(想定最大規模の降雨)

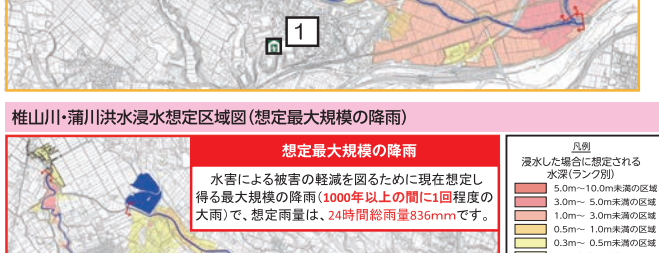


自主避難所は気象警報(大雨・洪水・暴風・高潮)発表時に開設します。

椎山川・蒲川洪水浸水想定区域図(計画規模の降雨)



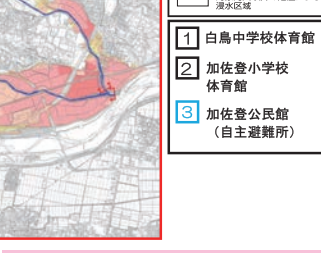
椎山川・蒲川洪水浸水想定区域図(想定最大規模の降雨)



御幣川・鍋川洪水浸水想定区域図(計画規模の降雨)



御幣川・鍋川洪水浸水想定区域図(想定最大規模の降雨)



線状降水帯や大型台風などにより、全国各地で氾濫の恐れがあります。雨の降り方に注意して、早めに避難しましょう。

**大雨・集中豪雨 雨の降り方に注意しましょう**

<p><b>やや強い雨</b> 1時間あたり10~20ミリ</p> <p>傘を持っての雨、道路一面に水たまりができる程度の雨。雨傘や傘の持ちかた、雨具の持ちかたに注意が必要です。</p>	<p><b>強い雨</b> 1時間あたり20~30ミリ</p> <p>どしゃ降り、傘をさしても濡れてしまう程度の雨。雨傘や傘の持ちかた、雨具の持ちかたに注意が必要です。</p>	<p><b>激しい雨</b> 1時間あたり30~40ミリ</p> <p>バケツをひっくり返したような大雨。道路が水たまりだらけになり、歩行者が滑る恐れがあります。</p>	<p><b>非常に激しい雨</b> 1時間あたり50~60ミリ</p> <p>海のように降り、傘が全く役に立たず、先が曇るくらい強い雨。下水道の排水能力を超えるほどの大雨。浸水や氾濫が発生する恐れがあります。</p>	<p><b>猛烈な雨</b> 1時間あたり60ミリ以上</p> <p>息を切らさずなげなげな降り続くような大雨。浸水や氾濫が発生する恐れが強く、避難が必須です。</p>
---	--	---	--	--